

パルナスで9月17日(土)、NHKラジオ第1の番組「真打ち競演」の公開録音が行われ、集まった町民約400人を楽しませました。

やってきたのは、おぼん・こぼん、ひろき、柳亭市馬、チャリーカンパニー、太田家元九郎、三笑亭夢之助(出演順)といった、演芸界きつての6組。NHK青森のニュース番組「あつ



ぶるワイド」の打越裕樹アナウンサーが司会を務め、コントや漫才、漫談、落語など、出演者それぞれが味のあるステージを披露しました。

このうち、5番目に登場した太田家元九郎さんは今別町出身で、津軽三味線の漫談を披露しましたが、ふだん使い慣れた津軽弁での漫談に、会場は大きな笑いの渦に包まれ、めったに見られないバラエティ豊かな2時間を観客は堪能し、たびたび大きな拍手がわき起こっていました。

この収録の様子は、NHKラジオ第1で、11月5日(土)と12日(土)の午後8時5分～午後8時55分に放送されます。



65才からの 笑顔の大切さ おもしろおかしく 笑顔講座

9月8日(木)パルナスで、ATV「おしゃべりハウス」出演で有名な俳優のささきまことさんを迎え、「65才からの笑顔講座」と題したイベントを行いました。

この日は、老人クラブや65歳以上のお年寄り約300人が詰めかけ、花柳穂紀桜の舞踊と、ささきまことさんの「一人芝居」を鑑賞しました。

ささきさんが1人で芝居するパートと、「かまりこ商店街婦人部」と命名された5人の劇団員が演劇を演じるパートがありましたが、ささきさんは韓国人のガイドや出稼ぎの男、立候補するオドなどを、全編津軽弁でコミカルに演技し、会場は大爆笑。時折、中泊町の商店や場所、施設なども笑いのタネとして登場し、抱腹絶倒の演技でした。

また、かまりこ商店街婦人部の演劇は、今話題のAKB48をもじった「AKB48歳以上」というユニットを結成するストーリー。最後には、AKB48のメジャーデビュー曲「会いたかった」を替え歌にした「あめでまった」をささきさんも一緒に入って歌い、会場は大きな手拍子で歌を楽しんでいました。

よほど楽しかったのか、アンコールでもう1曲歌ったこのイベント。最後まで笑いあふれる講座でした。

